

令和5年度第1回東松島市総合教育会議議事録

日 時 令和5年8月21日（月）午後3時から午後4時30分

場 所 東松島市役所 3階 301会議室

出席者 東松島市長 渥美 巖
東松島市教育委員会 教育長 志小田 美弘
東松島市教育委員会 教育委員 木村 和彦
東松島市教育委員会 教育委員 福田 ゆかり
東松島市教育委員会 教育委員 鹿野 あい子
東松島市教育委員会 教育委員 松岡 勝久

傍聴者 4人

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥美 巖

3 議題

(1) 報告事項

- ①本市における小中学校が連携した教育の現状について
- ②教育課程特例校制度（小学校低学年からの英語活動）の市内全校実施について
- ③「縄文シティサミット in ひがしまつしま」開催について

(2) 協議事項

- ①全国学力・学習状況調査の結果と本市の学力向上の取組について
- ②デジタルメディアとの関わりの現状と本市の取組について

(3) その他

- ①市議会だより掲載記事に関する申入れについて

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘

5 閉会

事務局

ただ今から、令和5年度第1回東松島市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして、渥美市長からご挨拶を申し上げます。

渥美市長

令和5年度第1回東松島市総合教育会議にあたり、一言挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、木村委員、福田委員、鹿野委員、松岡委員の皆様にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

子ども達の夏休みも本日までということで、今年は新型コロナウイルス感染症が明けましたので、各イベントや地域でのお祭りなどが活発に開催されておりますので、友だちと遊んだり、家族で出かけたり、行事に参加したりなど、楽しい思い出がたくさんできたのではないかと考えております。

今年度も、早いもので上半期が過ぎようとしており、教育分野の事業といたしましては、大曲小学校改築工事や赤井小学校講堂改築工事などは、予定通り進んでいるほか、矢本運動公園体育館新築工事や鷹来の森運動公園に新たに整備するスケートボードパークの工事についても計画的に進めているところであります。また先日は「海と大地子ども交流事業」として更別村から児童16人が本市を訪れ、松島自然の家やキボッチャに、本市の児童と共同宿泊しながら、宮戸の大浜海岸でいかだづくりやキャンプファイヤーなどで、交流を深めていただきましたし、その後、更別村で4月から新しく議員になられた3人の議員さんが、西山村長さんや織田議長さんとともに、本市にお越しいただきまして、本市の復興状況などについて視察いただいております。これから下半期に入りますと、大きな行事といたしましては、本日の報告事項にもありますが、「縄文シティサミット」が本市を会場に10月15日、16日に開催される予定です。前回は平成20年度でしたので、15年ぶりの開催ということで、全国各地から多くの方々にお越しいただきます。また、スポーツ関係では、様々な大会が予定されており、特に8月26日には鷹来の森運動公園で全日本一般男子ソフトボール大会があるほか、10月8日には全国パークゴルフ大会なども予定されています。また、昨年度、市議会の一般質問で、子どもたちの体力向上に関する質問を受け、中学生には中体連などの大会はあるが、小学生にはそのような大会がないということを見ましまして、今年初めて小学校4年生から6年生を対象とした「小学生オリンピック競技会」を10月28日に鷹来の森運動公園を会場に開催する予定としています。また、本市では令和3年度から「デフスポーツ」ということで、デフサッカーやデフフットサルの日本代表合宿を開催していただいております。先日は、このほか初めてデフバスケットボール日本代表選手にも来ていただき、合宿をおこなっていただいております。その際には、子ども達にサッカー教室なども開催いただくなど、地域交流にも貢献いただいておりますので、スポーツ健康都市宣言にも掲げている「誰もがスポーツに親しみ、交流できるまち」としてこれからも積極的にスポーツ大会や合宿などの受け入れを行っていきたいと思っております。

本日の会議は、報告事項3件、協議事項2件、その他事項1件ということで、限られた時間の中ではございますが、委員の皆様と有意義な意見交換ができますことをお願い申し上げます。開会のあいさつといたします。

事務局

それでは議題に入ります。東松島市総合教育会議運営要綱の規定に基づき、渥美市長を

議長として進行します。渥美市長よろしくお願ひいたします。

渥美市長

それでは、要綱の定めるところによりまして、議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。早速議題に入ります。はじめに、議題（1）報告事項、①本市における小中学校が連携した教育の現状について、②教育課程特例校制度（小学校低学年からの英語活動）の市内全校実施について、③「縄文シティサミット in ひがしまつしま」開催について、事務局から報告お願ひします。

事務局

教育総務課から資料1ページから8ページ説明。

渥美市長

ただ今説明のあった3件について、委員の皆様から何かご質問ございませんか。

木村委員

イングリッシュキャンプの参加人数を教えてくださいませんか。

事務局（教育総務課）

今年度1回目実施した際は小学4年生から6年生対象で22名の参加でした。昨年度1月におこなった低学年対象については24名です。その前は30名の応募枠を超える応募がありました。

木村委員

私も参加させていただきましたが、非常に良い取り組みだと思いましたが、もう少し参加人数を増やしても良いのではないかと思います。

渥美市長

私もその様に思います。教育長いかがでしょうか。

教育長

やはり大人数集めて薄い活動となると効果が無いので、ALTや指導員の数で密なコミュニケーションとするため制限はあるものの、もう少し増やせるのではないかと思います。たくさん子どもたちが参加できるよう、もう少し工夫していきたいと思ひます。

渥美市長

ありがとうございました。その他にございませんか。

それでは、続きまして協議事項に入ります。①全国学力・学習状況調査の結果と本市の学力向上の取組について議題といたします。事務局から説明をお願ひします。

事務局

教育総務課から資料9ページから11ページ説明。

渥美市長

ただいまの説明について、委員の皆様ご質問等ございますか。

鹿野委員

協同的な学びの研修により職員の皆さんが一生懸命されていることがこの説明で分かるのですが、協同的な学びを通して教師や生徒の姿にどのような変化があったか教えていただきたいです。

事務局（教育総務課）

子どもたちが互いに考えを聞き合うことがベースにあります。そして分からないことを隠さず分からないから教えてと言いつつ関係作りができて授業が進められています。その様子を教師が見て適切な助言を適切なタイミングで行う。これまでの一斉授業の形ではなく、子どもたちの声が飛び交う授業づくりが多く見られるようになってきています。

鹿野委員

教師の方も適切なタイミングで子どもたちの指導を行っているようですが、教師の方たちの事前の授業に対する把握が大変だと思いますが、その辺について声など上がっていますか。

事務局（教育総務課）

学習課題を設定する上では、教員の教材研究にかかる労力は大きなものですが、これまでの教材研究と変わらないもので、それを基に子どもたちにいかに考えを主体的に出させるか、声のかけ方を授業の中で工夫しています。互いに授業を見合い、良い授業のスタイルを学び合い、授業が終わると自分たちで協議します。その協議の仕方についても市の全ての研究主任が見合い、やってみるといった研修会も先日おこなったところです。

鹿野委員

ありがとうございます。私もそうですが、自分の考えを人前で話すことが非常に苦手ですが、子どもたちの中にもそういった子どもも多々いるかと思えます。その中でお互いの考えを引き出し、討議し合うというのは非常に大変ですが今後大切なことだと思いますので宜しくお願いしたいと思います。

教育長

少し付け足します。協同的な学びとは見た目で見ると、全部ではないですが基本的に一斉指導をしないということです。4人を標準単位とするグループ学習をするということです。そこで教え合い、分からない子は聞き、分かる子は分からない子の気持ちが分かる、それで勉強していくということです。本市も3年前から始めており、教員がそれを理解して進めるのは時間がかかり大変ですが、今特に小学校でそれが形になりつつあります。

森田先生の話で衝撃を受けた言葉がありまして、「自力解決の時間はほぼ無駄です。分か

らない子にとってその時間は無駄です。20世紀の授業は全体指導が主でグループ指導が補完でしたが21世紀はその逆です。」という言葉です。教員も自分の授業を変えていくのは大変ですが、中学校も今頑張っておこなおうとしております。

渥美市長

他にございませんか。

松岡委員

今年の全国学力・学習調査の結果、宮城県は全国で何位くらいだったのでしょうか。

事務局（教育総務課）

それほど良い結果ではありませんが、4月・12月に実施する標準学力調査において現在の小学6年生を4年生から見ているのですが、劇的に上がってきております。その結果に達成感を持っており、頑張ってきた先生方の励みとなっていると思っております。

松岡委員

市長が学力向上を掲げて市政に携わっていると思いますが、教育長のお話からも今少しずつベースが出来ており、今後上がっていくと思われませんが、学力向上に向けて塾などの民間を含めた協同体制をとれないかと考えており、いろいろな方法を模索できると思えますが、パッケージとして民間を含めて何かできないかと思っております。

志小田教育長

この調査結果から見えることが学力の全てではなく、バランスよく教育の多様な目標をやりつつ結果として学力が上がっていくことが正しいと思っております。まさに本市の施策としてパッケージとして2年前に作ったものが形になろうとしていると思っております。

渥美市長

私から申し上げますと、小学校については宮城県の平均に近づきつつあると思いますが、中学校について若干のマイナスの数字を見ると何か問題点などあるのでしょうか。

事務局（教育総務課）

標準学力調査の結果をみると、中学生について他の地域と比較するとそれほど大差はないと思いますが、高校受験に対して焦りが生まれなため、意識改革として速足になるよう働きかけが必要だと思います。もう一つは中学校に入ってから基礎学力の向上に向けた家庭学習が必要だということです。家に帰ってから机に向かう時間が非常に少ない。ためこんを進め、子どもたちの生活を整えていくことで少しずつ効いていくのではないかと思いますので、意識改革と基礎学力の向上を進めたいと思っております。

渥美市長

ありがとうございます。本市では5年前から夏休みの短縮や2学期制の導入により年間で6日間ほど授業日数が長くなっており、これが9年間となると結構な学力保障の時間になっていると思います。例えば夏休みなどの長期休暇に学校で全体の学習を上げる方法の

検討はどうでしょうか。

志小田教育長

この数字の見方ですが、正答数で見ると大差はありません。中学校になると学習量が多いため上げづらくなっております。小学校の方で少しずつ効果がでていっているので同じような取り組みを中学校でも行っていく必要があると思います。塾の話も出ておりましたが、全国学力調査の問題は、入試などと少し異なる問題となっており、しっかり問題文を読んで理解するということが大切になっております。しっかり本を読み、文字を読み取り自分の頭で考えることが大切です。なぜこのようなテストになっているかという、「そういった授業をしてください」というメッセージが問題に込められており、塾で行う授業とは異なるものであります。

渥美市長

その他にございませんでしょうか。全国学力調査の結果を見ると小学生についてはほぼ数字的に差がない、中学校については若干差があるものの、個々のレベルを上げていくというお話でした。また、本市は今英語教育にも力を入れておりますので、中学生になった時、良い結果になるのではないかと思います。

次に②デジタルメディアとの関わりの現状と本市の取組について事務局よりお願いします。

事務局より資料13ページから15ページ説明。

渥美市長

ただ今事務局から説明がありましたが、スマホやタブレットなどデジタルメディアに触れる時間について今年子ども未来サミットでも自己評価できる取組について話し合いが行われていますが、委員の皆様から、何かご意見等ございませんか。

福田委員

小中連携事業でたくさんの良い取り組みを行っていると報告を受けまして、今後も続けていただきたいと思いました。また、今日は小中なので少し異なるかもしれませんが、幼児からの対策も必要となってくると思いますので、幼保小連携の会議もあると思いますので、家庭での取り組み等、その様な方向でも一緒に検討していただけたらと思います。

事務局（教育総務課）

先ほどお話しした榊先生からも子どもたちだけではなく、保護者の方にも聞いてもらいたいという話がありました。また、学校からも保護者に聞いてほしいとの声があったので、今後、市P連等の講演会でぜひ榊先生を呼んで欲しいとの声が出ております。

福田委員

ぜひその時、幼稚園や保育所のお父さんお母さん、保育士等にも声を掛けていただきたいと思えます。

志小田教育長

今のお話について、全くその通りだと思います。若い保護者さんにメディアの光と影について理解してもらうことが必要だと思います。昨年、県の保育所担当の保健福祉部でも冊子を出しております。

学校だけではなく、保健福祉、子育てとみんなで正しいメディアの使い方、良い活用の仕方を学ぶ必要があると思います。

渥美市長

ありがとうございます。PTAの研修でそういった機会を考えていただきたいと思えます。

最後にその他について事務局より説明をお願いします。

総務課より資料17ページ及び別冊資料説明。

渥美市長

この件につきまして、委員の皆様から質問等がありますか。

松岡委員

市議会だよりはどこで作っているのですか。

事務局（総務課）

議会で作成しております。

渥美市長

市議会だよりの記事を見ると市側の答弁内容が部分的となっており、正確に伝わらない可能性があったため議会へ申入れしたということでお知らせしたものです。

松岡委員

分かりました。この件については数年前に総合教育会議や教育委員会で議論したものであり、予算組した段階で入学者全員に指定ジャージを配布するには予算が足りないため、学校指定のジャージは配布できないことになりました。問題は、予算を増額して学校指定のジャージを配るのか、この予算が上限であるならばこの状況を周知徹底していくしかないと思います。

教育部長

2年前から入学祝ということで配布しております。今年度は1・2年生が持っており、来年から全学年がこのジャージを持っていることになるので、使用できる機会は増えてくるのではないかと思います。市としても多くの子どもさんに着ていただきたいと思えます。もう少し着る機会を増やしていけるよう働きかけていきたいです。

渥美市長

これには年間160万円程度の予算を付けております。部活動などで十分使われている

と思いますが、全学年持っていないため、中総体など学校で移動する場合は、学校指定のジャージ着用としております。

また、学校指定よりは安価に買えているということについてご理解いただきたいということで報告させていただきました。

木村委員

その他としてですが、毎日暑い日が続いておりますが、できれば市体育館か奥松島体育館に冷房施設の検討をお願いできないでしょうか。屋内競技だと床が滑ったりします。スポーツ健康都市宣言を行っている本市なので、予算も絡むと思いますが検討いただけませんか。

渥美市長

体育館の冷房だと、予算の関係もあるため、事務室や集会室等に冷房をつけて体調が悪くなったらそこで休むなどは必要かと思いますが、市の体育館全館となるとなかなか難しいところもありますが、県内の動向も見て検討させていただきます。

他にございませんでしょうか。それでは、以上で予定の議題について全て終了いたしましたので、議長の職を解かせていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。

総務課長

それでは、閉会のご挨拶を志小田教育長にお願いします。

教育長

長時間に渡ってご協議いただきありがとうございました。教育基本目標として「ふるさと東松島市を愛し、新たな時代を志高く拓く、心豊かな人づくり」を大きな目標を掲げております。しっかりと学力を育む、心を含めた成長を保証するという二つの大きな柱をたてて、2年前に全体計画として系統を整理し、大きなパッケージとして進めております。

具体的な成果が見えてきた点ありますが、今後進めるべき方向の気づきを得た部分もあります。課題を含めてやるべきことが見えてきておりますので、学校と歩調を合わせて進めていきたいと思っております。今日はどうもありがとうございました。

事務局

以上をもちまして、令和5年度第1回東松島市総合教育会議を閉会いたします。